

ラムサール条約登録 5周年記念

入場
無料



記念展示

中海・宍道湖を 知る、学ぶ展

★in 島根県立美術館★

平成23年1月26日(水)～1月31日(月)

10:00～18:00

島根県立美術館 ギャラリー2

☆in 松江イングリッシュガーデン☆

平成23年3月8日(火)～3月24(木)

9:00～16:30

松江イングリッシュガーデン 回廊

■内容:

- ◆中海・宍道湖のおいたち
- ◆中海・宍道湖と私たちの暮らし(食べ物編)
- ◆中海・宍道湖と私たちの暮らし(生活編)
- ◆水辺に出かけよう!ふれあい・体験(生物編)
- ◆湖にもっと優しく!私たちにもできることは?(活動編)
- ◆みんなの中海・みんなの宍道湖

■主催:島根県自然環境課 0852-22-6377



展示イメージ

○ラムサール条約とは？

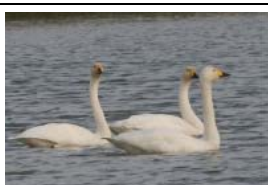


湿地は人間や多くの生物にとって欠かすことのできない生息環境でありながら、工業排水や家庭排水などによる汚染や、開発による影響を受けやすいところでもあります。

こうした状況を受け、1971年2月、イランにあるカスピ海沿岸の町「ラムサール」に、世界18カ国の代表が集まり、湿地を守ることを目的として採択したのがラムサール条約(正式名:特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)です。

宍道湖と中海は平成17年11月8日、アフリカのウガンダで開かれた締約国会議で、同時に登録されました。

○中海・宍道湖の自然



中海と宍道湖はともに、淡水と海水が交じり合う「汽水湖」で、多様な生物のすみかとなっています。広大なエリアには、水鳥たちのエサとなる植物や魚介類が豊富にあり、例年、1千羽を超すコハクチョウをはじめ、3千羽のマガン、2万羽のキンクロハジロなどが越冬のため大陸から飛来します。さらに、ヤマトシジミなど貴重な漁業資源の生育場でもあり、世界的に重要な湿地に認められるのに十分な環境を備えています。



○「環境保全」と「賢明な利用」

素晴らしい自然をたたえる中海・宍道湖ですが、水質悪化や赤潮に見舞われることもあります。良好な環境を持続するため、ラムサール条約は、湿地の「環境保全」と「賢明な利用」(ワイスユース、Wise Use)の大切さをうたっています。

島根県では湿地の環境保全のため、鳥取県と共同で毎年7000人以上が参加する大規模な水辺の一斉清掃を実施しています。また、地元のNPO法人が中心となり、水質を浄化したり、稚魚の成育場となるヨシを湖岸に植栽活動などを行っています。



●本展示のパネルの利用について

本展示のパネルを無料で貸し出しいたします。

学校や公民館等での環境学習活動においてパネルの利用希望がございましたら、以下の連絡先までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

連絡先

島根県環境生活部自然環境課 大野、田部

電話:(0852)-22-6377 or 5347

FAX:(0852)-26-2142

メール:shizenkankyo@pref.shimane.lg.jp